

シェアして食品ロス削減！ フードドライブで食品を集めてひとり親家庭へ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、急な収入減少や家計支出の増加により生活が困窮するひとり親家庭が増加している現状を受け、横浜市資源循環局、こども青少年局、横浜市母子寡婦福祉会及び公益社団法人フードバンクかながわが連携し、フードドライブとひとり親家庭への食支援のキックオフイベントを行います。

フードドライブで各家庭にある使い切れない未使用食品を集めるとともに、ひとり親家庭に対し食料支援を行う、食品ロス削減と食支援を両立させた取組です。

1 フードドライブ

日にち：令和2年7月13日（月）から7月17日（金）まで

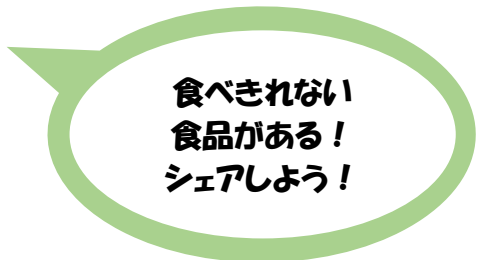
時間：8時45分から17時まで

場所：横浜市役所（横浜市中区本町6-50-10）

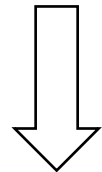
方法：市役所総合受付（3階）にて入館証を受け取り、
資源循環局3R推進課（23階）までお持ちください。

※大量の食品をお持ち込みの場合、事前に

3R推進課（045-671-3593）にご連絡ください。



食べきれない
食品がある！
シェアしよう！



2 「ぱくサポ」(ひとり親世帯フードサポート事業食品提供会)

日にち：令和2年7月22日（水）

時間：10時から15時まで

場所：神奈川区神之木地区センター

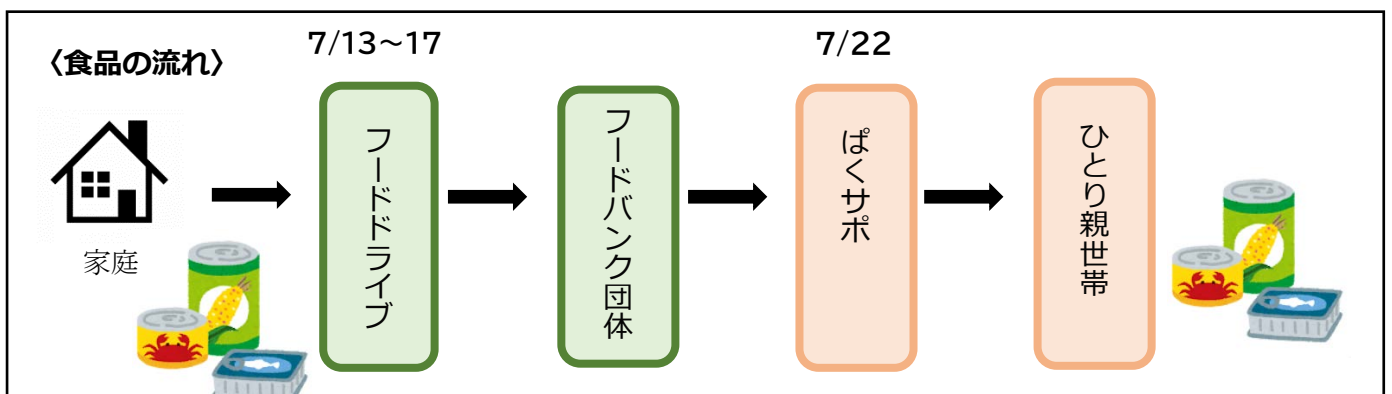
対象者：市内に住所を有するひとり親世帯

申込：横浜市母子寡婦福祉会ホームページ (<http://www.zaibosi.org/>) からお申込みください。（先着50世帯）

申込期間：令和2年7月9日（木）から7月20日（月）



ぱくっと食べたら
食品ロス削減サポーター



3 フードドライブで集める食品について

(1) 条件

- ・未開封（包装や外装が破損していない）
- ・賞味期限（要明記）が2か月以上残っているもの
- ・常温保存できるもの



(2) 種類

【提供いただきたい食品】

- ・穀類（お米、小麦粉等）
- ・缶詰
- ・インスタント・レトルト食品
- ・お菓子（クッキー、せんべい等）
- ・調味料（食用油、醤油、砂糖等）
- ・乾物（乾麺、海藻等）

【受付できない食品】

- ・生鮮食品
- ・冷蔵冷凍食品など温度管理が必要なもの
- ・お弁当・手造り品
- ・賞味期限の記載がないもの
- ・包装が破損し食品が外気にふれたもの
- ・商品説明が外国語のみのもの
- ・アルコール類

《参考》

■8月1日から「ぱくサポ」（ひとり親世帯フードサポート事業）を本格スタートします！

8月1日から、フードバンク団体から供給される食品をもとにした、横浜市ひとり親世帯フードサポート事業がスタートします。

毎月市内各区で、ひとり親世帯の方を対象とする食品の提供会を実施します。提供会の実施日時や提供を受けたい方のお申込み方法などに関する情報は、「横浜市母子寡婦福祉会」のホームページでご案内予定です。

■フードドライブとは

各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動。

■フードバンクとは

各家庭や食品を取り扱う企業から、まだ安全に食べられるのに廃棄されてしまう食品を引き取り、福祉施設等へ無償で提供する団体・活動。

お問合せ先

「フードドライブに関すること」： 資源循環局3R推進課長 江口 洋人 Tel 045-671-2563

「提供会・フードサポート事業に関すること」

： こども青少年局こども家庭課長 奥津 正仁 Tel 045-671-2364